

柏原市行財政健全化戦略

具体的取組項目の取組状況

平成22年度～平成26年度(第1期集中取組期間)

平成27年3月

柏原市

柏原市行財政健全化戦略 具体的取組項目 調書 (平成27年3月)

■ 取組状況一覧

具体的取組項目と効果額〔実績〕 (千円)							効果の説明	
取組名	分類番号	平成22年度〔実績〕	平成23年度〔実績〕	平成24年度〔実績〕	平成25年度〔実績〕	平成26年度〔実績〕	効果の内容	計上される額
① 削減と節減	S1～S21	308,173	589,811	692,310	725,782	535,735	既存事務事業を対象に、事務事業の統廃合、手法や実施内容の変更見直しによって得られる効果	H21年度と比較して歳出減となった額
② 増収と補填	Z1～Z11	193,885	300,410	394,317	320,535	524,034	既存事務事業を対象に、収納率の向上、受益者の一部負担、補助金や交付金の獲得によって得られる効果	H21年度と比較して歳入増となった額
③ 均衡と抑制	K1～K7	400	41,291	55,690	58,174	50,187	新規事務事業を含み、市民協働の推進、起債の繰上償還、入札等の適正化などによって得られる効果	健全化に取り組むことによってH21年度決算額を超える支出を抑制した額や、歳入と歳出の均衡を図った額 など
④ 充実と促進	J1～J7	-920	-2,000	8,910	7,647	7,620	全事務事業を対象に、市民サービスの充実を図ることによって得られる効果 (※行政サービスの基礎となる人材の育成や組織力の向上への取り組みも含む)	規模見直しによる利用者の増で総事業費は増えたが利用者一人当たり割り戻すとコストが縮減できた場合の事業費増の額や、支出を伴うが市民参加のまちづくりが実現した額 など (※印の取り組みには費用等は発生しない。)
取り組みによる効果額の合計		501,538	929,512	1,151,227	1,112,138	1,117,576	※取り組みの効果を次の4つの観点で分類しています。 「①削減をプラスとする」「②増収をプラスとする」「③支出増が見込まれるところ取り組みによってH21決算額を維持したことをプラスとする」「④支出が必要でも充実できたことをプラスとする」	※効果額の算定方法は各年度の効果額はH21年度決算額と比較しての効果額を基本としています。 (ただし単純に決算比較できない場合、例えば「スポット的に獲得できた補助金はH21年度を0とし獲得金額を増収額とする」「単価を改定した手数料などはH21年度単価での換算額と比較する」などによって効果額を算定しています。)
効果額の累計		501,538	1,431,050	2,582,277	3,694,415	4,811,991		

柏原市行財政健全化戦略 具体的取組項目 調書 (平成27年3月)

①削減と節減の取り組み

見直しの着眼点	番号	担当課	実施内容	取組内容と効果額〔実績〕(千円)									
				平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
行財政健全化戦略 3-1. 重点的・戦略的な行財政運営を実現する予算編成の実施					23,576		14,734		25,575		23,980		5,929
メリハリのある予算編成に向けた一般経費の節減	S1	財政課	需用費・役務費・原材料費の節減 事務事業を絶えず見直し、経費節減の徹底を図る	需用費・役務費・原材料費について課単位の枠配分を実施(前年度実績の5~10%カット)		→ [H22実績+H23効果]		→ [H22実績+H24効果]		→ [H22実績+H25効果]		→ [H22実績+H26効果]	
				効果額〔実績〕	23,576	効果額〔実績〕	14,734	効果額〔実績〕	25,575	効果額〔実績〕	23,980	効果額〔実績〕	5,929
行財政健全化戦略 3-3. 適正な経費支出への取り組み					39,884		222,436		291,854		234,923		230,209
補助金の精査	S2	産業振興課	中小企業支援の見直し 現在の制度内容が公的融資受給者に支援が限定されることから制度のあり方を検討	開業資金融資利子補給制度の廃止を検討		→		→		→		→	
				効果額〔実績〕	914	効果額〔実績〕	1,665	効果額〔実績〕	1,665	効果額〔実績〕	1,665	効果額〔実績〕	1,665
補助金の精査	S3	産業振興課	イベント内容の見直し 農業祭(ぶどう祭・野菜朝市)の開催事業補助金の内容を精査	ぶどう祭に重点野菜朝市は廃止		→		→		→		→	
				効果額〔実績〕	60	効果額〔実績〕	60	効果額〔実績〕	60	効果額〔実績〕	60	効果額〔実績〕	60
委託料の精査	S4	人権推進課	イベント内容の見直し 平和展の企画良質化と経費節減	開催内容や展示方法、委託方法などを見直し経費節減		→		→		→		→	
				効果額〔実績〕	88	効果額〔実績〕	296	効果額〔実績〕	296	効果額〔実績〕	298	効果額〔実績〕	318
委託料の精査	S5	環境保全課	契約方式の見直し 家庭ごみ収集運搬業務の入札制度導入	H23.4から家庭ごみ収集運搬業務の契約方式を入札制度に変更するため、H22.6に入札を実施		→		→		→		→	
				効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	88,063	効果額〔実績〕	88,063	効果額〔実績〕	88,063	効果額〔実績〕	88,063
委託料の精査	S6	こども課(子育て支援課)	療育教室の運営方法の見直し 指定管理者制度による包括的な委託から直接事業委託に切り替え、委託内容の合理化を図る	現在の委託先である柏原市社会福祉協議会と委託金額の見直し(従事職員の精査等)を協議		→		→		→		→	
				効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	5,858	効果額〔実績〕	5,708	効果額〔実績〕	5,698	効果額〔実績〕	4,545
委託料の精査	S7	道路水路整備課	維持管理費の節減(市道) 地域協働の推進や事業手法の見直しによる維持管理の適正化	維持管理の事業内容を精査、見直し (日常管理的な維持管理より緊急的・応急的な改修の割合が増)		→		→		→		→	
				効果額〔実績〕	92	効果額〔実績〕	-3,456	効果額〔実績〕	-2,027	効果額〔実績〕	-847	効果額〔実績〕	-10,154
委託料の精査	S8	道路水路整備課	維持管理費の節減(河川水路) 地域協働の推進や事業手法の見直しによる維持管理の適正化	施工回数や必要箇所を精査、見直し (日常管理的な維持管理より緊急的・応急的な改修の割合が増)		→		→		→		→	
				効果額〔実績〕	2,836	効果額〔実績〕	-4,404	効果額〔実績〕	-2,914	効果額〔実績〕	-4,115	効果額〔実績〕	-6,729

柏原市行財政健全化戦略 具体的取組項目 調書 (平成27年3月)

①削減と節減の取り組み

見直しの着眼点	番号	担当課	実施内容		取組内容と効果額〔実績〕(千円)									
					平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
委託料の精査	S9	水道工務課	民間委託の実施	水質検査業務の民間委託を推進し、経費を節減	職員1名減、業務委託に振り替え		→		→		河南水質管理ステーション設立		→	
					効果額〔実績〕	285	効果額〔実績〕	1,024	効果額〔実績〕	1,024	効果額〔実績〕	8,605	効果額〔実績〕	8,442
委託料の精査	S10	議会事務局	会議録調整業務の見直し	速記反訳(速記士による記録とその反訳)をテープ反訳へ切り替え	テープ反訳切り替えの準備(議場マイク設備の点検・整備)		テープ反訳が可能かを確認できるまでは速記反訳、確認後にテープ反訳へ切り替え		すべてテープ反訳に切り替え		→		→	
					効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	946	効果額〔実績〕	892	効果額〔実績〕	942	効果額〔実績〕	707
その他経費・事業費の必要性、費用対効果による見直し	S11	行財政改革推進本部(財政課)	一部事務組合負担金の見直し	行財政改革への取組を促し、経費を節減	一部事務組合の行財政改革の取組で経費を節減。負担金を削減。		→		→		→		→	
					効果額〔実績〕	28,866	効果額〔実績〕	117,562	効果額〔実績〕	183,754	効果額〔実績〕	122,799	効果額〔実績〕	133,151
その他経費・事業費の必要性、費用対効果による見直し	S12	車両運行課	フレックスタイム制の導入	市内循環バスの運行にかかる超過勤務手当の抑制	超過勤務が発生する便にフレックスタイムを導入		→		超過勤務が発生する便を嘱託職員で運行		→		9月より運行体制を見直し、別路線にフレックスタイムの導入など、超過勤務手当の抑制を図る	
					効果額〔実績〕	585	効果額〔実績〕	585	効果額〔実績〕	336	効果額〔実績〕	335	効果額〔実績〕	1,712
その他経費・事業費の必要性、費用対効果による見直し	S13	水道工務課	自己水割合の見直し	単価の安い自己水の水量を確保し、府営水の受水費用を削減	老朽化した井戸の浚渫(1箇所)		老朽化した井戸の浚渫(1箇所)		老朽化した井戸の浚渫(1箇所)		→		老朽化した井戸の浚渫(1箇所)	
					効果額〔実績〕	6,158	効果額〔実績〕	14,237	効果額〔実績〕	14,997	効果額〔実績〕	11,420	効果額〔実績〕	8,429
行財政健全化戦略 3-4. 適正な事業規模への取り組み								20		18		-54		2
現在の需要状況や今後の需要見込みを観点とした精査	S14	こども課(こども政策課)	保育所運営方法の見直し	多様化する市民ニーズに対応できる保育行政を実施	次世代育成支援対策行動計画(H21)/公立保育所のあり方(H18)を踏まえ今後の方針を検討		H23方針に基づき具体化策(民営化等)の実施に向けた検討及び準備期間または移行期間		→		公立施設の民営化等による幼保一元化ガイドライン策定、公立保育所1園の民営化に取組む		→	
					効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	—
現在の需要状況や今後の需要見込みを観点とした精査	S15	こども課(子育て支援課)	産褥ヘルパー派遣制度の見直し	サービスの質・量の適正化、現行制度の見直し(一般的な利用を一定制限)、重度の要支援者に柔軟に対応できるように制度を改正	派遣回数見直し(H23.4から実施)一般的な利用20h→10h 重度20h→制限無し		新制度の実施		→		(重度の要支援者への対応)		→	
					効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	20	効果額〔実績〕	18	効果額〔実績〕	-54	効果額〔実績〕	2
行財政健全化戦略 3-5. 政策・施策を戦略的に展開できる組織体制の整備						244,713		352,621		374,863		466,933		299,595
簡素で効率的な組織人員体制構築の推進	S16	人事課	定員管理計画の策定	計画的な定員管理(H22当初職員数422名から5年間で5名を削減、H27当初職員数417名とする。(水道・下水道・病院を除く)	(職)計422名(H21から12名減) (再)計3名(H21から1名減)		(職)計420名(H21から14名減) (再)計3名(H21から1名減)		(職)計424名(H21から10名減) (再)計3名(H21から1名減) ※権限移譲による配置増も含む		(職)計421名(H21から13名減) (再)計1名(H21から3名減) ※権限移譲による配置増も含む		(職)計425名(H21から9名減) (再)計4名(H21から0名減) ※権限移譲による配置増も含む	
					効果額は取組項目S17番に一括計上									

柏原市行財政健全化戦略 具体的取組項目 調書 (平成27年3月)

①削減と節減の取り組み

見直しの着眼点	番号	担当課	実施内容		取組内容と効果額〔実績〕(千円)									
					平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
簡素で効率的な組織人員体制構築の推進	S17	人事課	給与制度・運用・水準の見直し	国の給与構造改革に準じた給与水準と制度及び運用の見直し	人事院勧告に基づく給与を導入地域手当6%⇒3%		人事院勧告に基づく給与を導入係長級以上の給料3%カットの実施		→		国の給与減額特例措置に準じた給料4.77%~9.77%カットの実施(11月~3月)		国の給与減額特例措置に準じた給料4.77%~9.77%カットの実施(4月)	
					効果額〔実績〕	218,122	効果額〔実績〕	302,096	効果額〔実績〕	312,063	効果額〔実績〕	384,673	効果額〔実績〕	235,538
簡素で効率的な組織人員体制構築の推進	S18	人事課(水道)	定員管理計画の策定	新行財政計画期間で人員削減済み・人員配置の検討	当初職員数24名再任用1名		当初職員数25名(1名増)再任用1名		当初職員数25名(1名増)再任用0名(1名減)		当初職員数24名再任用0名(1名減)		当初職員数23名(1名減)再任用0名(1名減)	
					効果額は取組項目S19番に一括計上									
簡素で効率的な組織人員体制構築の推進	S19	人事課(水道)	給与制度・運用・水準の見直し	国の給与構造改革に準じた給与水準と制度及び運用の見直し	人事院勧告に基づく給与を導入地域手当6%⇒3%		人事院勧告に基づく給与を導入係長級以上の給料3%カットの実施		→		国の給与減額特例措置に準じた給料4.77%~9.77%カットの実施(11月~3月)		国の給与減額特例措置に準じた給料4.77%~9.77%カットの実施(4月)	
					効果額〔実績〕	26,182	効果額〔実績〕	24,831	効果額〔実績〕	33,067	効果額〔実績〕	44,963	効果額〔実績〕	40,655
簡素で効率的な組織人員体制構築の推進	S20	人事課(下水)	定員管理計画の策定	新行財政計画期間で人員削減済み 人員配置の検討	当初職員数26名		当初職員数25名 片山ポンプ場建設完了に伴う削減		当初職員数26名		当初職員数24名		当初職員数24名	
					効果額は取組項目S21番に一括計上									
簡素で効率的な組織人員体制構築の推進	S21	人事課(下水)	給与制度・運用・水準の見直し	国の給与構造改革に準じた給与水準と制度及び運用の見直し	人事院勧告に基づく給与を導入地域手当6%⇒3%		人事院勧告に基づく給与を導入係長級以上の給料3%カットの実施		→		国の給与減額特例措置に準じた給料4.77%~9.77%カットの実施(11月~3月)		国の給与減額特例措置に準じた給料4.77%~9.77%カットの実施(4月)	
					効果額〔実績〕	409	効果額〔実績〕	25,694	効果額〔実績〕	29,733	効果額〔実績〕	37,297	効果額〔実績〕	23,402
削減と節減の取り組み					308,173		589,811		692,310		725,782		535,735	

柏原市行財政健全化戦略 具体的取組項目 調書 (平成27年3月)

②増収と補填の取り組み

見直しの着眼点	番号	担当課	実施内容	取組内容と効果額〔実績〕(千円)									
				平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
行財政健全化戦略 3-2. 適正な受益者負担への取り組み					147,845		252,360		344,267		320,485		475,012
サービスの水準や経費等を考慮した点検・再検討	Z1	納税課 保険年金課	市税徴収と国保徴収の連携 市税と国保の連携体制の強化	納付コールセンター設置、電話催告による現年度分納付額(市税47,985千円、国保32,939千円)	効果額〔実績〕 80,924	納付コールセンター継続、電話催告による現年度分納付額(市税114,016千円、国保56,346千円)	効果額〔実績〕 170,362	納付コールセンター継続、電話催告による現年度分納付額(市税167,915千円、国保96,676千円)	効果額〔実績〕 264,591	納付コールセンター継続、電話催告による現年度分納付額(市税138,782千円、国保110,981千円)	効果額〔実績〕 249,763	納付コールセンター継続、電話催告による現年度分納付額(市税146,980千円、国保103,281千円)	効果額〔実績〕 250,261
サービスの水準や経費等を考慮した点検・再検討	Z2	行財政改革推進本部 (企画調整課)	施設の有料化 公共施設の備品貸し出しや会議室の有料化	プロジェクターなどの備品貸し出しの有料化を検討	効果額〔実績〕 -	→	効果額〔実績〕 -	→	効果額〔実績〕 -	→	効果額〔実績〕 -	手数料使用料の見直しと新たな受益者負担を各課検討(一部経費の増から引上げの検討)	効果額〔実績〕 -
サービスの水準や経費等を考慮した点検・再検討	Z3	環境保全課	ごみ減量施策の推進 ごみ減量化を促進するため、一般家庭ごみの有料化や粗大ごみの個別回収などを検討	家庭ごみの指定袋制や粗大ごみの個別収集などを検討	効果額〔実績〕 -	→	効果額〔実績〕 -	→	効果額〔実績〕 -	陶磁器のリサイクルを実施	効果額〔実績〕 -	リサイクル資源回収の拠点づくり、小型家電の回収などを検討	効果額〔実績〕 -
公平性・公正性を確保するための定期的な見直し	Z4	下水業務課 (経営総務課)	水洗化啓発事業の委託 各家庭の排水管の污水管への接続啓発業務の民間委託	水洗化促進員訪問による水洗化促進	効果額〔実績〕 677	→	効果額〔実績〕 1,476	→	効果額〔実績〕 1,247	→	効果額〔実績〕 1,792	→	効果額〔実績〕 5,368
公平性・公正性を確保するための定期的な見直し	Z5	納税課	収納率の向上 現年度分の催告強化(差押や財産調査等の充実)で収納率を向上[収納率93.0%を目標] ※納付コールセンターの効果額は取組項目Z1に別掲	現年度分の年度内収納と滞納処分の早期着手で収納率を向上	効果額〔実績〕 49,745	→	効果額〔実績〕 66,604	→	効果額〔実績〕 76,002	→	効果額〔実績〕 66,509	→	効果額〔実績〕 77,384
公平性・公正性を確保するための定期的な見直し	Z6	保険年金課	国民健康保険料負担の平準化 保険料を支払いやすくする保険料負担の平準化(限度額や保険料率の見直し)	①医療分限度額を3万円、後期高齢者支援金等分限度額を1万円引上げ ②所得割を引上げ	効果額〔実績〕 15,380	①医療分、後期高齢者支援金等分の限度額1万円引上げ、介護分の限度額2万円引上げ ②所得割と応益割を引下げ	効果額〔実績〕 12,110	①限度額 ②保険料率と前に前年度から据え置き	効果額〔実績〕 0	①限度額は前年度から据え置き ②保険料率は、医療分引下げ、後期高齢者支援金等分、介護分引上げ	効果額〔実績〕 0	①限度額は据え置き ②後期高齢者支援金等分と介護分の限度額を各々2万円引上げ ③所得割と応益割を引上げ	効果額〔実績〕 16,720
公平性・公正性を確保するための定期的な見直し	Z7	保険年金課	保険料徴収における公平性の確保 徴収体制の整備や新たな徴収方法の取組み	預貯金差し押さえの重点実施や差し押さえた動産のインターネット公売	効果額〔実績〕 1,119	→	効果額〔実績〕 1,808	→	効果額〔実績〕 2,427	→	効果額〔実績〕 2,421	→	効果額〔実績〕 949
公平性・公正性を確保するための定期的な見直し	Z8	経営総務課	下水道事業の安定経営 下水道使用料の見直し	下水道使用料の適正化を検討	効果額〔実績〕 -	→	効果額〔実績〕 -	→	効果額〔実績〕 -	3月議会で料金改定に係る案件の可決	効果額〔実績〕 -	平成26年10月から改定平均改定率37.6%増	効果額〔実績〕 124,330

柏原市行財政健全化戦略 具体的取組項目 調書 (平成27年3月)

②増収と補填の取り組み

見直しの着眼点	番号	担当課	実施内容	取組内容と効果額〔実績〕(千円)										
				平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
行財政健全化戦略 3-3. 適正な経費支出への取り組み					46,040		48,050		50,050		50		48,050	
その他経費・事業費の必要性、費用対効果等による見直し	Z9	保険年金課	国民健康保険 財政の健全化 国庫補助金等の獲得(特特分)	国財政調整交付金の特別交付金のうちの特特分額		→		→		国財政調整交付金の特別交付金のうちの特特分は交付されず		→		国財政調整交付金の特別交付金のうちの特特分額
				効果額〔実績〕	46,000	効果額〔実績〕	48,000	効果額〔実績〕	50,000	効果額〔実績〕	0	効果額〔実績〕	48,000	
その他経費・事業費の必要性、費用対効果等による見直し	Z10	水道総務課 (経営総務課)	広告の募集 水道検針票、水道料金納入通知書等に広告を掲載し、収入(広告料)の確保を図る	水道検針票、水道料金納入通知書等に広告を掲載		→		→		→		→		
				効果額〔実績〕	40	効果額〔実績〕	50	効果額〔実績〕	50	効果額〔実績〕	50	効果額〔実績〕	50	
行財政健全化戦略 3-6. 資産・施設の有効活用													972	
資産・施設の有効活用	Z11	まちの魅力づくり課	公の施設の ネーミング ライツ ネーミングライツによる施設命名収入の確保										体育館、第二体育館、青谷運動場のネーミングライツ開始	
				効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	—	効果額〔実績〕	972	
増収と補填の取り組み					193,885		300,410		394,317		320,535		524,034	

柏原市行財政健全化戦略 具体的取組項目 調書 (平成27年3月)

③均衡と抑制の取り組み

見直しの着眼点	番号	担当課	実施内容		取組内容と効果額〔実績〕(千円)										
					平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
行財政健全化戦略 3-1. 重点的・戦略的な行財政運営を実現する予算編成の実施						-		-		-		-		-	
行政評価結果を踏まえた予算編成	K1	行財政改革推進本部(企画調整課)	行政評価システムの運用	行政評価システム(事務事業評価・市民委員による施策評価)の適正運用	「市民満足度」「部局の運営方針」を取り入れた評価方法に改善(客観性の向上)	客観性の向上、評価結果の反映を促進	2回目の市民満足度調査を実施、行政評価の資料を更新	行政マネジメント力の向上を目指し、部長マニフェストを評価ベースとした評価方法を導入	新評価方法の継続、市民満足度の毎年実施の検討、行政評価を総合計画の進行管理に活用						
					効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕
行財政健全化戦略 3-3. 適正な経費支出への取り組み						-		39,693		53,881		56,093		48,045	
その他経費・事業費の必要性、費用対効果等による見直し	K2	契約検査課	公正で適正な入札制度の確立	総合評価落札方式の入札方法採用や入札等監視委員会の設置	工事・コンサル業務の電子入札を実施	業者登録の電子受付の検討	郵便入札(電子入札以外で透明性を確保できる方法)の実施	暴力団排除条例に伴う規則要綱の整備	入札等監視委員会の審査対象となる要件を拡大						
					効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕
その他経費・事業費の必要性、費用対効果等による見直し	K3	契約検査課	公共工事の評価制度の見直し	①施工管理及び検査体制の充実 ②公共工事の評価制度を充実	①随時検査を強化 ②工事成績評定基準の改正	①公共工事の管理体制を強化	→	②コンサル部門の成績評定導入の検討	→						
					効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕
その他経費・事業費に必要性、費用対効果等による見直し	K4	下水道業務課(経営総務課)	公債費(利子)の削減	年利5%以上7%未満の下水道債をH22～H24の3年間で低金利なものに借換え(効果は翌年計上)	H23.3 約6億2290万円を借換え	H23.9、H24.3 約3億6680万円を借換え	H24.9、H25.3 約5530万円を借換え	→	→						
					効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	37,572	効果額〔実績〕	48,850	効果額〔実績〕	45,809	効果額〔実績〕	39,571	
その他経費・事業費に必要性、費用対効果等による見直し	K5	水道総務課(経営総務課)	企業債の計画的な償還・借換え	高金利企業債の繰上償還・借換え等(効果は翌年計上)	対象企業債の繰上償還	→	→	対象企業債の繰上償還・借換え	→						
					効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	2,121	効果額〔実績〕	5,031	効果額〔実績〕	10,284	効果額〔実績〕	8,474	
行財政健全化戦略 3-7. 柏原版「産学官」協働と「市民」との連携によるまちづくり						400		1,598		1,809		2,081		2,142	
市民協働のまちづくりの推進	K6	公園緑地課	地域協働の推進	ワークショップ形式等を活用した市民との協働による緑地整備	7箇所の整備と維持管理	7箇所の整備と維持管理	8箇所の整備と維持管理	9箇所の整備と維持管理	9箇所の整備と維持管理						
					効果額〔実績〕	339	効果額〔実績〕	1,476	効果額〔実績〕	1,687	効果額〔実績〕	1,898	効果額〔実績〕	1,898	
市民協働のまちづくりの推進	K7	公園緑地課	地域協働の推進	地域ボランティアによる維持管理の推進	72公園(前年比1公園増)	73公園(前年比1公園増)	→	74公園(前年比1公園増)	75公園(前年比1公園増)						
					効果額〔実績〕	61	効果額〔実績〕	122	効果額〔実績〕	122	効果額〔実績〕	183	効果額〔実績〕	244	
均衡と抑制の取り組み						400		41,291		55,690		58,174		50,187	

柏原市行財政健全化戦略 具体的取組項目 調書 (平成27年3月)

④充実と促進の取り組み

見直しの着眼点	番号	担当課	実施内容		取組内容と効果額〔実績〕(千円)														
					平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度						
行財政健全化戦略 3-4. 適正な事業規模への取り組み						-		-		10,820		10,820		10,820					
求められる役割やサービス内容の変化、必要性の変化を観点とした精査	J1	車両運行課	運転業務・市内循環バス等について	循環バス運行の効果向上	現在の利用状況を分析し、利便性を向上させるコースや停留所の変更等を検討	見直しを継続	臨時停留所の設置(乗降者いる場合のみ停車)	利用少ない停留所の事前予約で運行時間短縮・柏原病院送迎循環バス送り便の発車間隔を30分間隔に短縮	新ルート設置、柏原病院送迎循環バス送り便の発車間隔を30分間隔に短縮	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-				
					効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-					
現在の需用状況や今後の需用見込みを観点とした精査	J2	こども課	保育所入所にかかる配置基準の見直し	保育の充実を図りつつ年度途中の待機児童の解消を目指す 国基準を上回る範囲で保育士の配置を見直し、適正化	基準改正[3歳児配置20:1(国20.1)を15:1、1歳児配置4:1(国6.1)を5.1に変更]	移行期間の試行実施、4月当初は従来の基準、年度途中の入所については新基準	新基準の完全実施 配置基準の見直しに伴い運営補助金も適正化	→	→	効果額〔実績〕	10,820	効果額〔実績〕	10,820	効果額〔実績〕	10,820				
					効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	10,820	効果額〔実績〕	10,820	効果額〔実績〕	10,820					
行財政健全化戦略 3-5. 政策・施策を戦略的に展開できる組織体制の整備						-		-		-		-		-					
簡素で効率的な組織人員体制構築の推進	J3	人事課	定員給与等の公表	定員給与等の状況を市民にわかりやすく公表	広報誌とホームページに掲載(12月)・給与制度の現状報告と是正の取組をホームページに掲載(3月)	→	→	→	→	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-				
					効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-					
簡素効率化を進めた組織の政策推進能力を向上	J4	まちづくり課	政策・施策を戦略的に展開できる組織体制の整備	政策・施策を戦略的に展開できる組織体制の整備	まちづくり戦略会議「柏原版事業仕分け」を実施	現組織体制の検証と見直し	→	まちづくり部門の創設、地域連携やまち魅力発信の課設置、こども専門の窓口一元化	行財政健全化戦略会議の定期開催	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-				
					効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-					
職員一人ひとりの生産性や政策形成能力を向上	J5	人事課	人事評価制度の運用	目標管理による実績考課と人材育成	H19からの自己申告シートの継続・事異動・昇格等への反映	→	→	→	自己申告シートに代えて目標管理シートを導入(目標管理機能の向上)	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-				
					効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-					
職員一人ひとりの生産性や政策形成能力を向上	J6	人事課	職員研修制度の充実	職員個々の意識改革や資質向上を図る研修プログラムの提供	研修効果測定の第一段階として受講者アンケートの実施	→	→	→	→	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-				
					効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-	効果額〔実績〕	-					
行財政健全化戦略 4-1. 公共サービスの新しい担い手との連携						-920		-2,000		-1,910		-3,173		-3,200					
市民協働のまちづくりの推進	J7	市民ふれあい課	パートナーシップの推進	新たなコミュニティ活動支援体制の構築	まちづくりに頑張る自治会・団体補助金制度の創設と導入	まちづくりに頑張る自治会・団体補助金制度の継続	→	→	→	効果額〔実績〕	-920	効果額〔実績〕	-2,000	効果額〔実績〕	-1,910	効果額〔実績〕	-3,173	効果額〔実績〕	-3,200
					効果額〔実績〕	-920	効果額〔実績〕	-2,000	効果額〔実績〕	-1,910	効果額〔実績〕	-3,173	効果額〔実績〕	-3,200					
充実と促進の取り組み						-920		-2,000		8,910		7,647		7,620					